

# 松本城



丁度十回目となる今回の旅は城を訪れた。日本の城は、現代の風景に妙に馴染ながら、それでいて強烈に歴史を感じさせる。

城はどれも同じようなものではないか、と言われることがあったがそうではない。姿形は似ていても、それぞれの城が作られた事情や歴史背景はまったく別物だからだ。

だから、城はただ眺めるだけでなく、その裏にある歴史的背景を知ると興味深い。権力の誇示、隣国からの防衛など、時の君主の思惑を感じとり、その時代の情景に思い馳せる。

時代の変遷とともに国家は繁栄と衰退を繰り返してきた。しかし、城はときには修復を施しながら、この現代に見事なまで

にその姿をそこしている。今なお、雄々しいその姿を目の当たりにすると、私は立ちすくんでしまう。迷い、悩み、苦しみ、喜び、すべての感情が、このあまりに巨大な歴史という大河の前ではあまりにちっぽけな存在に感じってしまうのだ。

城を巡り、歴史を体感することで私は自分へと帰帰することができる。私にとって、城を巡る旅は自分を見つめ直す旅といえるだろう。(宮本)



和歌山城